

# 志 苑

滋賀県総合教育センター所報  
〒520-2321 滋賀県野洲市北桜  
TEL(077)588-2311 FAX(077)586-0011  
<http://www.shiga-ec.ed.jp/>

平成22年6月

Vol.120

## 「仕込み」

所長 北村 清之



もう20年ほど前になるでしょうか。福井県大飯町にある「若州一滴文庫」を訪れたことがあります。（その後施設の老朽化もあって訪れる人が少なくなり一時閉館していましたが、地元の方々の熱意もあって近年再開されているようです。）ご存じの方も多いと思いますが、当地の出身である我が国を代表する作家水上勉氏が、自らの蔵書約2万冊を収納するとともに、代表作「越前竹人形」と重ね合わせるように約100体の竹人形とそれに取り付ける面500点が展示されているすばらしい文化・芸術の発信基地です。2万冊に上る書庫の壮大さにも圧倒されましたが、何と云っても竹人形館に一步足を踏み入れたときの異様な雰囲気、妖気が漂っているかのような緊張感は今も忘れることができません。正直なところ若狭にこのようなすばらしい施設があることは、それまで全く知りませんでしたし、是非一人でも多くの人に訪れて欲しい気がしました。水上勉氏はこの文庫を紹介するパンフレットに残した「たった一人の少年に」と題した文章の最後にその想いをこう綴っています。

「生まれた村に小さな図書館を建てて、ぼくと同じように、本を読みたくても買えない少年に開放することにきめた。どうか、君も、この中の一冊から、何かを拾って、君の人生を切り開いてくれたまえ。たった一人の君に開放する。」

長野県上田市の「無言館」、群馬県みどり市の「富弘美術館」等も同じような想いが込められた施設であり、まさに、訪れた人たちがその経験をじっくりと寝かせ、十分に発酵させることで、人生のどこかで、芳醇な心の酒として蘇らせてくれることを願った『仕込み』そのものであるような気がしてなりません。

そうした見方をしてみますと、教育の世界もまさに『仕込み』の部分が多くある、と言うよりも、改めてこうした視点で教育の世界を見直してやるが必要になってきているように思われます。「教育は国家百年の計」と言われながら、急激な社会の変化の中で、矢継ぎ早の教育改革はそのいずれもが性急な結果と成果を求めており、学校教育全体がやや落ち着きを無くしている感が否めません。しかし、子どもたちにとってはやはりそれぞれの発達段階で経験し、学んでいかななくてはならないものが必ずあり、そしてそれは順番が違ってはならないし、時間を短縮して学べるものでもありません。大相撲の魁皇関が通算100勝を達成したと言って大きなニュースになっていますが、魁皇関への最高の讃辞が「ちゃんこの味が染み込んだ力士」であることを思うと、子どもたちにも「学校・家庭の味」をじっくりしっかり仕込んでいくことが必要であり、その仕込み役である私たち教育者が行政に携わる者も含めて、常にそのことを自覚し、よい仕込みができるための技術と手法について研鑽を深めていくことが求められます。

当センターでは、様々な研修や講座を用意するとともに、カリキュラムサポートセンターとしての内容の充実も図っており、今年度も「役立つセンター・出かけるセンター」をモットーに先生方の支援に努めてまいります。

是非とも多くの先生方に活用していただくとともに、センターのホームページも利用していただくことで日々の教育実践に生かしてくださることを願っています。

# 明日を生きる子どもに 確かな学力と 豊かな心を

# 滋賀県総合教育センター

《役立つセンターを目指して》指導力アップ・資質の向上(新規講座・研修)

《出かけるセンターを目指して》現場のニーズに応える情報を提供します

## 指導力向上プログラム **New!!** 専門講座

授業ビデオ視聴や事例発表等により授業力の向上を図ります。

- ★小学校外国語活動の授業力アップ講座  
「英語ノートを活用した外国語活動の授業づくり」  
◇第1回 ○これからの小学校外国語活動  
○英語ノート活用のアイデアと効果的なアクティビティ
- ◇第2回 ○子どもたちが生き生きと学ぶ外国語活動の展開と評価
- ◇第3回 ○映像から学ぶ授業づくりのポイント  
○児童の積極的なコミュニケーションを引き出す授業づくり  
(研修事業案内 P.73)



＜教職2年次研修の様子＞

専門的知識、技能等を養い、専門職としての指導力の向上を図ります。

- ★特別支援教育実践推進講座  
「特別支援教育の具体的な実践のコツ」  
◇第1回 ○就学前の幼児に対する実践のコツ  
◇第2回 ○学童期の児童に対する実践のコツ  
◇第3回 ○思春期の生徒に対する実践のコツ  
◇第4回 ○青年期の生徒に対する実践のコツ  
(研修事業案内 P.80)
- ★特別支援教育理解推進講座  
「だれもが分かるユニバーサルデザインの授業づくり」  
◇いま授業づくりが変わる！  
(研修事業案内 P.81)
- ★ウェブアニメーション作成入門講座  
「フラッシュによるWebページの作成」  
◇学校教育とWebページ  
◇Webコンテンツ作成ソフトの利用  
◇Webページ作成ソフトへの挿入  
(研修事業案内 P.84)
- ★プレゼンテーション入門講座  
「プレゼンテーションソフトの活用」  
◇教育の情報化について  
◇プレゼンテーションソフトの基本機能と操作  
(研修事業案内 P.84)

## 教師力アップ!!

- ◇ステージ研修・マネジメント研修・職務研修等の指定研修
- ◇昨年度から行われている各種指導力向上プログラム・専門講座

詳しくは「研修事業案内」をご覧ください。

## 特別支援教育相談(持てる力を高めるために)

発達障害(LD、ADHD、高機能自閉症等)やその他の障害がある子ども一人ひとりに合った学校・家庭での対応や配慮等の具体的支援について、相談員がアドバイスをします。

また、必要に応じて各種心理検査等の実施や医療機関等との連携を行います。ご利用をお待ちしています。

- 対象 本人(幼児・児童・生徒) 保護者、教職員
- 方法 電話相談、来所相談
- 相談日 月曜～金曜(祝日等休館日を除く)
- 相談時間 9:30～16:30



TEL 077-588-2311

## センター所員があなたの地域・学校へ

センター職員が、各市町教育委員会の研修会、各学校の校内研究(修)会、県の研究部会などに出向き、平成21年度に取り組んだ研究や授業力アップDVDを活用して、出前発表・出前支援をさせていただきます。

小 学 校	国 語 科	◇論理的思考力をはくくむ「読むこと」の指導 - 「ことのはベーシック」の活用- ◇論理的思考力をはくくむ「書くこと」の指導 - 「ことのはベーシック」の活用-	<b>一度センターにきいてみよう!</b>
	算 数 科	◇表現する力を高める算数科の授業づくり - キーワード・マップを用いた指導-	
	理 科	◇小学校理科における授業力向上に関する研究 - 理科学習を支援するための指導資料の作成と活用を通して- ◇問題解決の能力をはくくむ授業づくり - 理科学習を支援するための指導資料の活用を通して- ◇理科における学校支援の在り方を探る - 理科支援員等を生かした授業の活性化-	
	特別支援教育	◇小学校通常の学級における特別支援の在り方を探る - ハンドブック「アシスト&メソッド」の活用を通して- ◇小学校特別支援学級における支援の充実に関する研究 - 気づきの視点を取り入れた自立活動の取組み-	
	情報教育	◇児童用e-Learning教材に関する研究 - 外国語活動を支援するデジタル教材の作成と活用の在り方について-	
	学校支援	◇教師の学び合いを高める学校づくり - 学校を活性化する校内研究のススメ-	
小 学 校 ・ 中 学 校	児童生徒の学習環境	◇学ぶ意欲を生み出す学級経営の在り方を探るⅡ - リサーチアセスメントを活用した指導改善-	 ＜授業力アップDVD＞
	情報教育	◇全国学力・学習状況調査の分析支援システムに関する研究 - 指導改善に有効なシステムの在り方について-	
中 学 校	英 語 科	◇コミュニケーション能力を育成するEnglish-Jumping Project - 表現力を高める中学校1年生の授業づくり-	
	人権教育	◇情報社会における生徒の人間関係づくり - ケータイパックを使った取組み-	
	情報教育	◇中学校社会科における生徒用e-Learning教材に関する研究 - 滋賀県の地域史学習を支援する教材の作成と効果的な活用の在り方- ◇情報安全教育を支援するための授業づくり - 考えさせる学習活動を重視した中学校における情報モラルの授業-	
小・中 ・ 高等学校	特別支援教育	◇特別支援教育を推進する研修活用の在り方 - 研修における効果の分析を通して-	

## 授業に役立つ素材・教材を収集したい

### 教育学習情報システム

学習指導案・実践事例など。  
※登録数約3,211件(H22年3月31日現在)

## 自分のペースで学習や教材作成したい

### e-Learning 研修

「いつでも、どこでも、自分のペースで」が合言葉。  
エクセル・ワードの使い方、研究成果のプレゼンテーション、教科指導のアイデアなど。

まずは **しがe-センター「ID」とパスワードでログイン!**

詳しくは、総合教育センターWebページ  
<http://www.shiga-ec.ed.jp/>

「教科指導についてもっと学びたい!」「小学校外国語活動の取組みは?」「校内研究会等を充実させたい」  
「センターの研究を活用したい」「授業で用いる図書を探している」 申込は、カリキュラムサポートまで

TEL・FAX: 077-587-6210(専用) E-mail: k-spt@bz01.plala.or.jp(専用)

# 志 苑

## 総合教育センター 創立40周年記念

### 「創立40周年を迎えるにあたって」

第22代所長 北村清之

昭和46年というよりは、1971年といった方が相応しいかもしれません。70年安保闘争による混乱がようやく下火になり、世の中全体が落ち着きを見せ始めた頃でしたが、それでも、若者たちの、教育を含めた社会全体に対する批判のエネルギーは衰えを知らぬほど激しく渦巻いており、私自身もその渦中の一員として、以後の生き方、社会の有り様を真剣に考えていたことを鮮明に覚えています。滋賀県総合教育センターがそうした世情と時同じくして産声を上げたことはまさに適時であり、期待された役割と果たすべき責任の重大さは容易に察することができるものであります。創立40周年という節目を迎えるに当たって改めて創設期の職員名簿に目を向けますと、初代仁志出所長を筆頭に、研修主事の先生方の中にも、以後本県の教育界に卓然たる足跡を残されてきた多くの先輩方を見つけることができ、改めて当時のスタッフの方々の「滋賀の教育をこの地から」という熱い思いと力強い歩みを窺い知ることができます。以来40年、その想いは脈々として受け継がれてきており、施設設備にはやや老朽化がみられるものの、先輩諸氏が蓄積

されてこられた教育実践や研究成果は全国に誇れるものであり、本県教育研究の殿堂として確固たる地位を築くまでに発展してまいりました。

しかしながら近年は、子どもたちの社会性の未熟さ、学習意欲の低下など山積する教育課題に対応するため予想以上の速さで教育改革が進められてきています。一方で、社会の急激な変化の中で家庭や地域社会の教育力の低下が叫ばれており、その分教職員の資質向上をはじめとした学校教育全体に対する期待はかつて無かったほど高まってきているように思われます。

このような時こそセンターの果たすべき役割が一層重要になってきていることを自覚し、これまで以上にセンターが現場の先生方の研修や研究の拠点として、また先生方に明日への活力を提供する場として、これまでの成果に学びながらも、常に次代の教育のあるべき姿を見据えながら前進してまいりたいと考えております。

今後とも関係各位の温かいご支援とご指導を引き続きよろしくお願い申し上げます。



### 「あの当時のこと～十年前の一年～」

第14代所長 田附紀夫

総合教育センターでの勤務は前後合わせて四年間だった。その最後の一年、平成十二年八月に「滋賀県総合教育センターの将来構想について」、十三年三月末に「滋賀県の学校教育と総合教育センターの役割について」という論文を教育長に出して退職した。この中で本県学校教育上の諸問題に係る事務局各課とセンターの役割・機構について論じた。

現在、その時要望していた幾つかが実現しているようであるが、今読みかえすと、改革するということの多難さを知りつつも、何とかしたいという当時の思いが伝わってくる。

また、当時、センターの次年度予算は学校教育課が作成していたが、十三年度予算はセンター自身で作成することに決めた。初めてのことであり所員は大変であった

と思うが、県全体で10%シーリングの中で、前年度増の予算を得たのは、その時の財政課の方々に、教育にかけている情熱を解ってもらえた成果であったと思っている。その中の一つに、日本を代表する宗教学者の山折哲雄先生に依頼した年間三回の講演があった。

『この国のかたちを作った人々―その心の源流―』（第一回）、『この国の流れの中の人々―明日を見つめる心のかたち―』（第二回）、『この国の夢を作る人々―明日を見つめる心のかたち―』（第三回） 道元・親鸞・日蓮らの思想から形作られていく日本人の心を見事に語られた重厚な講演であった。教育を考える基として、何度も聞きたい内容であった



# 総合教育センターも40年目の春を迎えました



## 沿

## 革

- 昭和
- 8.3 滋賀県教育研究所設置規定制定
- 28.4 滋賀県教育研究所設置(大津市東浦 県庁南別館滋賀県教委事務局内)
- 31.4 近畿地区教育研究所連盟に加入
- 32.4 滋賀県学校以外の教育機関の設置に関する条例制定
- 32.4 全国教育研究所連盟に加入
- 33.9 滋賀県教育研究所基本規則制定
- 36.11 都道府県五大市教育研究所長協議会結成加入  
滋賀会館に移転
- 38.3 県庁南別館に移転
- 38.6 大津県事務所内に移転
- 39.3 滋賀県教育研究所の設置に関する条例制定
- 39.4 滋賀県教育研究所基本規則改正
- 41.1 県庁新別館に移転
- 41.4 教育特別研修生制度制定、研究員として滋賀大(教)専攻科に1年間派遣
- 42.3 滋賀県教育研究所基本規則改正(次長制、研究調査、教科研究係設置)
- 45.10 第1期工事(情報処理棟)着工(野洲町大字北桜)
- 46.3 滋賀県教育研究所廃止  
滋賀県総合教育センター設置および管理に関する条例制定  
滋賀県総合教育センターの管理運営に関する規則制定
- 46.4 第1期工事竣工(情報処理棟)
- 46.7 滋賀県総合教育センター設置
- 46.7 第2期工事(本館研修棟)着工
- 46.10 中型電子計算機システム、数値制御工作機械および関連機器設置
- 47.3 第2期工事(本館研修棟)竣工 教育工学機器設置
- 47.5 滋賀県総合教育センター竣工開所式
- 47.2 フーコー振り子設置
- 48.7 プラネタリウム設置
- 49.3 天体望遠鏡設置
- 50.10 第54回全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会(化学部会)開催
- 51.3 昭和50年度全国産業教育センター所長協議会情報処理教育部会開催
- 54.9 第83回全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会(初等理科部会)開催
- 54.12 教育工学機器更新
- 55.1 中型電子計算機システム更新(FACOM M-160S)
- 56.1 総合気象観測装置等の設置、理科関係備品充実
- 56.6 全国教育研究所連盟学校経営協議会開催
- 57.10 自動製図機設置
- 57.11 近畿地区教育研究(修)所連盟研究発表大会開催
- 58.5 中型電子計算機システム更新(FACOM M-160F)
- 58.10 昭和58年度都道府県指定都市教育研究所長協議会総会並びに研究発表大会開催
- 58.10 第117回全国理科教育センター研究協議会総会

- 60.4 調査研究係と教育資料係を調査資料係に統合、障害児教育係を新設 電子計算機システム更新
- 61.6 全国産業教育センター所長協議会開催
- 61.10 全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会(生物部会)開催
- 63.3 新館建設造成工事着工・電子計算機システム更新
- 63.6 全国教育研究所連盟事務能率化研究協議会開催
- 63.7 新館建築工事および本館改修工事着工
- 63.11 近畿地区教育研究(修)所連盟研究発表大会開催
- 平成
- 元.3 新館および本館工事竣工
- 5 新館および本館竣工式
- 2.10 全国理科教育センター研究協議会・研究発表会開催
- 3.3 創立20周年記念誌発行
- 3.4 電子計算機システム更新(FACOM M-770/4)
- 6.11 情報教育研修室パソコンシステム更新
- 近畿地区教育研究(修)所連盟研究発表大会開催
- 7.4 電子計算機システム更新
- 7.7 全国情報処理教育センター指導者協議会第29回滋賀大会開催
- 8.3 教育用ソフトウェアライブラリーセンター設置
- 8.6 全国教育研究所連盟総会・研究発表大会開催
- 9.12 自動気象観測装置、静止衛星「ひまわり」画像受信装置  
走査型電子顕微鏡設置
- 10.10 平成10年度全国教育研究所連盟「学校不適合・教育相談、環境教育、情報教育」等研究協議会開催
- 11.3 教育情報衛星通信ネットワーク(エル・ネット)の設置
- 11.4 衛星通信を活用した講座を開設(4講座)
- 11.9 近畿地区教育研究(修)所連盟障害児教育部会開催
- 12.4 総合教育センター設立30周年記念所報発行  
組織機構を2部6係制に改編
- 12.9 情報教育研修・研究用情報システム更新
- 近畿地区教育研究(修)所連盟同和教育部会開催
- 13.11 全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表大会(物理部会)開催
- 14.4 グループ制の導入により組織機構を3グループに改編
- 15.7 都道府県指定都市教育センター所長協議会総会・研究協議会開催
- 16.4 しがe-センター推進事業開始
- 16.8 出前研究発表会(安曇川・長浜)実施
- 17.5 カリキュラムサポート開始
- 18.5 総合教育センター運営協議会設置
- 18.11 近畿地区教育研究(修)所連盟研究発表大会開催
- 19.11 近畿地区教育研究(修)所連盟情報部会開催
- 20.10 近畿地区教育研究(修)所連盟B分科会開催
- 21.4 組織機構を3部5チーム制に改編
- 21.9 しがe-センターシステム更新
- 21.10 都道府県指定都市教育センター所長協議会初等理科部会研究協議会及び研究発表会開催
- 21.10 近畿地区教育研究(修)所連盟生徒指導・教育相談部会開催

# 夏の主な希望研修開催予定表

平成22年度(2010年度)「研修事業案内」から、この夏の希望研修・公開講座をピックアップしてみました。1学期半ばで多用な毎日をお過ごしでしょうか、今から夏季休業中の研修計画を立ててみてはいかがでしょうか。総合教育センターでは、この他にも学校ですぐに役立つ実践的指導力向上のプログラムを多数準備しています。積極的なご参加をお待ちしています。

開催月	希望研修(指導力向上プログラム・専門講座)・公開講座	
6月	24日(木) 25日(金)	▼理科教育講座 ○幼小連携講座
7月	22日(木) 26日(月) 28日(水) 30日(金)	▼特別支援教育実践推進講座 ▼音楽科の授業力アップ講座 ▼算数・数学科の授業力アップ講座《小学校》 ▲▼特別支援教育実践推進講座(半日単位の受講も可能) ▼保護者連携講座 ▼理科の授業力アップ講座
8月	2日(月) 3日(火) 4日(水) 5日(木) 6日(金) 9日(月) 10日(火) 11日(水) 17日(火) 18日(水) 19日(木) 20日(金) 24日(火) 26日(木) 27日(金)	▲英語科の授業力アップ講座 ▲道徳の授業力アップ講座《小学校》 ▼小学校外国語活動の授業力アップ講座 ▼特別支援教育実践推進講座 ○環境科学講座 ▼理科の授業力アップ講座 ○情報機器活用講座 ▼社会科の授業力アップ講座《小学校》 ▼学級づくり支援講座 ○小学校理科実習講座(3年生・5年生) ▼国語科の授業力アップ講座 ▼社会科の授業力アップ講座《中学校》 ○小学校理科実習講座(4年生・6年生) ○先端科学技術講座 ▼算数・数学科の授業力アップ講座《中学校》 ▼特別支援教育理解推進講座 ○エクセルVBA入門講座(8/18と同一内容) 【公開講座】天体観望会 PM6:00~PM9:00 ▼国語科の授業力アップ講座 ○環境科学講座 ▼道徳の授業力アップ講座《中学校》 ▼小学校外国語活動の授業力アップ講座 ▼理科の授業力アップ講座 ○データベース入門講座 ▲図画工作・美術科の授業力アップ講座 ▼保護者連携講座 ▲英語科の授業力アップ講座 ▼算数・数学科の授業力アップ講座《小・中学校》 ▼小学校外国語活動の授業力アップ講座 ▼理科の授業力アップ講座 ▼理科の授業力アップ講座 ○エクセルVBA入門講座(8/6と同一内容) ▼理科の授業力アップ講座 ○理科教育講座(主に中学校・高等学校) ▼理科の授業力アップ講座 ▼理科の授業力アップ講座 ▼子どもの読書推進講座



＜算数・数学科授業力アップ講座の様子＞



＜図画工作・美術科の授業力アップ講座の様子＞

※ 受講申込は、所属長(申込責任者)の承認のもとに、[総合教育センターWebページ](#)で手続きを行ってください。  
(研修事業案内P.90参照)

なお、複数回開催の講座は、1回のみのお受講も可能です。詳しくは、「研修事業案内」および「講座だより」をご覧ください。

※ ○…一日講座、▲…半日講座(午前)、▼…半日講座(午後)、青字…外部会場